

日本とアジアをつなぐ「日本語パートナーズ」 2022年派遣は、自治体・大学等他機関との連携を促進

国際交流基金（JF）は、アジアの中学校や高校等で現地の日本語教師と学習者のパートナーとして、日本語教育を支援する日本語パートナーズ派遣事業を実施しています。本事業では、日本語パートナーズ参加者がその経験を自身のキャリアや社会貢献活動に活かしてもらうこと等を目的として、一般募集だけでなく、地方自治体や大学等、他機関と積極的に連携した推薦プログラムを行っています。

日本語パートナーズ派遣事業は、日本政府が表明した、ASEAN を中心としたアジアとの文化交流を進める「文化のWA（和・環・輪）プロジェクト～知り合うアジア～」の一環として、2014年に開始しました。日本語パートナーズは現地の日本語授業でアシスタントを行うとともに、日本文化の紹介を通じた交流活動を行い、帰国後もさまざまな分野でその経験を活かして活躍しています。

2020年度派遣は、新型コロナウイルス感染症の状況に鑑み、パートナーズの安全確保を最優先として、すべての国・地域で見送りました。2021年度は、これまでにタイ、インドネシア、台湾、カンボジアに計89名が派遣され、現地の感染対策に基づくさまざまな制約の中でも、それぞれの派遣先で工夫して活動を展開しています。

2021年度に募集し、2022年に新たにインドネシアおよびタイ等に派遣される予定のパートナーズの中には、次の地方自治体や大学、民間企業との連携による推薦プログラムで選ばれた方も参加します。日本語パートナーズの参加者には、派遣先での活動や生活の経験を自身のキャリアアップや成長へとつなげていただくとともに、国内外での日本語教育や国際相互理解の促進、そして、日本社会における多文化共生に向けた取り組み等への貢献が期待されます。

他機関との連携による派遣人数（2022年2月現在）

	インドネシア (全体：80名)	タイ (全体：50名)	マレーシア (全体：18名)	フィリピン (全体：15名)
地方自治体※1	13名	11名	-	-
大学※2	2名	4名	2名	5名
企業※3	1名	1名	-	-

※1 地方自治体との連携による推薦プログラム（対象自治体：大分県、埼玉県、静岡県、福岡県）

※2 文部科学省との連携による大学推薦特別プログラム、および立命館アジア太平洋大学との連携による大学推薦プログラム

※3 吉本興業株式会社との連携による推薦プログラム

パートナーズは、派遣前に日本で約2～4週間の研修に参加し、現地語や安全管理、現地の日本語教師とのチームティーチング等を学んだうえで、現地へ派遣されます。

取材をご希望の際は、下記担当者までご連絡くださいますようお願い申し上げます。

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

記

事業名称：日本語パートナーズ派遣事業

主催：国際交流基金（JF）

2022年派遣の日本語パートナーズ概要一覧（予定）：

派遣先・期	派遣人数	派遣期間	備考
カンボジア 6期	1名	2022年2月～2022年9月	渡航済
マレーシア 8期	18名	2022年3月～2022年10月	
タイ 10期	50名	2022年5月～2023年2月	
インドネシア 17期	50名	2022年8月～2023年3月	
ラオス 7期	4名	2022年8月～2023年5月	
フィリピン 9期	15名	2022年9月～2023年3月	
ベトナム 9期	15名	2022年8月～2023年6月	
台湾 7期	15名	2022年9月～2023年6月	
インドネシア 18期	30名	2022年9月～2023年3月	

※派遣先の状況によって、派遣の延期や中止の可能性があります。



以上

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp